

2023年9月1日～2023年12月31日の間に 当院において内科に入院された方及びご家族の方へ

「持参薬における「Triple Whammy」（レニン・アンジオテンシン系阻害薬、利尿薬、NSAIDsの3
剤併用）、活性型VD製剤併用の実態調査」

へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学総合医療センター 薬剤部 薬剤師 石井里沙
研究分担者 川崎医科大学総合医療センター 薬剤部 薬剤師 高森智敬
川崎医科大学総合医療センター 薬剤部 部長 監物英男

1. 研究の概要

血圧を下げるレニン・アンジオテンシン系阻害薬、尿を出しやすくする利尿剤と解熱・鎮痛剤のNSAIDsを一緒に内服すると腎臓の機能を下げってしまうリスクがあると言われていました。また、骨粗鬆症の治療によく使われる活性型VD製剤も血液中のCaが多くなりすぎてしまうと同様に腎臓の機能を下げることがあると言われていました。今回の調査では腎臓の機能が異なる患者様でどれだけ上記薬剤が使用されているかについて調べます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023年9月1日～2023年12月31日の間に川崎医科大学総合医療センターの内科に入院された方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2024年12月31日

3) 研究方法

上記の研究期間に当院内科で入院された患者様の持参薬を確認・集計し、腎臓の働きを確認できる検査値で2つの群に分けて、レニン・アンジオテンシン系阻害薬、利尿剤、NSAIDsと活性型VD製剤の持参薬件数を確認します。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、持参薬、血清クレアチニン値、併用薬剤

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター薬剤部内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年11月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学総合医療センター 薬剤部

氏名：石井 里沙

電話：086-225-2111 内線80302（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

E-mail：r_ishii@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会へ報告し、適正に管理されています。